

自己実現 自主自立 本物の笑顔のために

東の風



平戸市立田平東小学校
学校便り

やさしく
かしこく
たくましく

No.21

平成28年6月21日(火)

文責：園田

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

よく学び

集中してます！



6月も中旬にはいります。大きな行事もひと段落。梅雨でジメジメと蒸し暑くもありますが、各学年共に学習に集中し、頑張っています。教室で学ぶ子ども達の引き締まった真剣な表情！教科書を音読する声や自分の考えを発表する声が聞こえてきます。音楽室からは明るく元気な歌声や笛の音も聞こえてきます。ノートをとる時の表情にも集中力を感じます。自分の考えをまとめながら書いているからでしょうね。

「本物の笑顔」を目指して、頭や心、そして体を鍛え、伸ばしています！



僕は〇〇だ
と思います！

うんうん、僕も
そう思うなあ。

よく遊ぶ



4月、本校に来てから驚いたことの一つに、子ども達が**遊具**で元気いっぱい遊んでいることがあります。特に『のぼり棒』や『雲梯(うんてい)』の上に登ったり、ぶら下がったりする子がたくさんいることは嬉しい驚きでした。

ブランコも一回転してしまいそうなくらいの勢いで、前後に揺らしています。もちろん私が子どもの頃は誰もがそうして遊んでいました。ですが、最近は『のぼり棒』や『雲梯』で遊ぶ子どもはあまり見たことがありません。ましてや、一番上にアッと言う間に登り、楽しむ姿はほとんど見ることはありませんでした。(危険だと禁止されていたり、登りたくても握力や腕力がない、コツがわからない等の理由もあり、登れないのかもしれませんが。)

現代の風潮は何でも「危険だから禁止」という傾向があります。各地の児童公園等からは色々な遊具が撤去されています。何でも先回りして危険と思われることを排除してしまう・・・これでは、何が危険か、どう危険かも経験せず、ますます何もできない子どもが増えてしまうのに・・・考えるのは私だけではないはず。

腕白に遊ぶ本校の子ども達の姿を見て、最初は心配しましたが、危険だとは思いませんでした。慣れていて体の使い方などが上手く、安心して見ていられます。「たくましいな」と思いました。もちろん、万が一のこともあります。低いところからではありますが、落ちて頭を打った子もいます。安全面には十分配慮をし、正しく安全に遊べるように指導をします。目を配ります。気を配ります。心を配り、そして後ろから見守ります。

校長室の窓からは、今日も生命のエネルギー溢れる子ども達の元気で笑顔がたくさん輝く姿が見えています。